

# 目次

総括	1
1 調査の概要	5
2 標本構成とその特徴	6
3 調査結果	
調査結果のポイント	9
第1章 男女共同参画に関する意識	
(1) さまざまな場における男女の地位の平等感	13
(2) 固定的性別役割分担意識	28
(3) 進路や職業選択における性別意識	30
(4) 性別にかかわらず機会確保	32
(5) 子どもの教育の考え方	33
第2章 家庭・地域生活に関する意識と実態	
(1) 家事等の役割分担	37
(2) ライフステージ別の働き方(希望と現実)	52
(3) 仕事と家庭・地域生活の両立(理想と現実)	68
(4) 男性が家庭・地域活動へ参加するために必要なこと	71
第3章 女性の職業や社会参画に関する意識と実態	
(1) 女性が職業をもつことについて	72
(2) 女性が職業を持ち続けられない理由	74
(3) 女性地位向上に対する考え方	76
(4) 政策の企画・方針決定の場に女性の参画が少ない理由	78
(5) 地域の代表に女性が少ない理由	80
第4章 配偶者等からの暴力	
(1) DVの認知状況	82
(2) DVに関する相談機関の認知状況	83
(3) DVをなくすために必要なこと	85
(4) DVの被害経験	87
(5) DV被害者の相談状況	89
第5章 男女共同参画の推進	
(1) 男女共同参画に関する用語の周知度	92
(2) 行政が男女共同参画社会形成のために力を入れるべき施策	94
4 集計表	
標本構成	
(1) 性別	97
(2) 年代	98
(3) 職業	99
(4) 結婚	100
(5) 配偶者の就業の有無	101
(6) 子どもの有無	102
(7) 世帯状況	103
(8) 居住地	104

4	集計表	
	第1章 男女共同参画に関する意識	
	(1) さまざまな場における男女の地位の平等感	
	ア) 熊本県全体では	1 0 5
	イ) 家庭生活では	1 0 6
	ウ) 職場では	1 0 7
	エ) 学校教育の場では	1 0 8
	オ) 政治の場では	1 0 9
	カ) 法律や制度の上では	1 1 0
	キ) 社会通念・慣習・しきたり等では	1 1 1
	(2) 固定的性別役割分担意識	1 1 2
	(3) 進路や職業選択における性別意識	1 1 3
	(4) 性別にかかわらずの機会の確保	1 1 4
	(5) 子どもの教育の考え方	
	ア) 性別にかかわらず、職業人としての教育が必要	1 1 5
	イ) 性別にかかわらず、生活に必要な技術を身に付けさせる	1 1 6
	ウ) 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる	1 1 7
	第2章 家庭・地域生活に関する意識と実態	
	(1) 家事等の役割分担	
	ア) 掃除	1 1 8
	イ) 食事の支度	1 1 9
	ウ) 食事のあとかたづけ・食器洗い	1 2 0
	エ) ごみ出し	1 2 1
	オ) 洗濯	1 2 2
	カ) 育児(経験者のみ)	1 2 3
	キ) 介護(経験者のみ)	1 2 4
	(2) ライフステージ別の働き方(希望と現実)	
	ア) 結婚していない時	1 2 5
	イ) 結婚して子どもがいない時	1 2 6
	ウ) 子どもが3歳以下の時	1 2 7
	エ) 子どもが4歳以上小学校入学前の時	1 2 8
	オ) 子どもが小学生の時	1 2 9
	カ) 子どもが中学生以上の時	1 3 0
	(3) 仕事と家庭・地域生活の両立(理想と現実)	1 3 1
	(4) 男性が家庭・地域活動へ参加するために必要なこと	1 3 3
	第3章 女性の職業や社会参画に関する意識と実態	
	(1) 女性が職業をもつことについて	1 3 4
	(2) 女性が職業を持ち続けられない理由	1 3 5
	(3) 女性地位向上に対する考え方	1 3 6
	(4) 政策の企画・方針決定の場に女性の参画が少ない理由	1 3 7
	(5) 地域の代表に女性が少ない理由	1 3 8
	第4章 配偶者等からの暴力	
	(1) DVの認知状況	1 3 9
	(2) DVに関する相談機関の認知状況	1 4 0
	(3) DVをなくすために必要なこと	1 4 1
	(4) DVの被害経験	1 4 2
	(5) DV被害者の相談状況	1 4 3
	第5章 男女共同参画の推進	
	(1) 男女共同参画に関する用語の周知度	1 4 4
	(2) 行政が男女共同参画社会形成のために力を入れるべき施策	1 4 5
5	調査票見本	1 4 7